

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習Ⅰ	<p>1. 授業で身につけた知識・技術を基にして、観察を通して対象者の状態や言語症状を把握する。2. 臨床上必要な情報収集を行う。3. 必要な結果を行い、その結果を分析する。4. 検査結果、各種の情報を下に評価・診断を行う。</p> <p>各病院・施設において4週間の実習を行い、終了後に学内でのセミナー(報告会)を行う。</p>	実習病院・実習施設
臨床実習Ⅱ	<p>1. 授業で身につけた知識・技術を基にして、言語聴覚障害に対する評価・診断、訓練を実施する。2. 治療計画の立案、治療を実施する。3. 記録、報告等、一貫した言語聴覚療法の流れを経験する。</p> <p>各実習施設において8週間の実習と、実習終了後に学内でのセミナー(報告会)を行う。</p>	実習病院・実習施設
学外体験実習Ⅰ	<p>1. 実習病院・施設における見学・観察を通して、地域における施設の役割や言語聴覚士の働く現場を知り、その役割理解する。2. 専門職に従事する者としての基本的な態度を学び、職業人への自覚を高める。3. 対象となる方々の言語聴覚障害だけでなく、それぞれがもつ様々な問題についても、広い視野で理解する。各実習施設において1週間の実習と、実習終了後学内での実習セミナー(報告会)を行う。</p>	実習病院・実習施設
学外体験実習Ⅱ	<p>前期:在宅研修 担当利用者のデイサービス及び訪問看護・リハビリテーション利用時に同行し、高齢者及び障害をもった方々の生活や在宅サービスについて理解する。</p> <p>後期:ふれあいタイム 高齢者及び障害をもった方々とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。また、評価実習に向けて対象者の観察、記録についての理解を深める。</p>	<p>社会福祉法人新生会リハビリテーション白鳥</p> <p>訪問看護ステーションサンビレッジ新生苑</p>
嚙下障害学演習Ⅰ	<p>嚙下障害の評価、診断に有用である嚙下造影検査について、実際の診療現場において以下について学ぶ。</p> <p>1. 座学で学んだ知識を基に、嚙下造影検査の概要についての理解を深める。2. 嚙下造影検査の被検者の体験を行い、検査実施時の対象者に対する配慮を学ぶ。3. 検査介助を体験し、検査手技の理解を深める。4. 正常及び異常所見の読み取り方に対する理解を深める。</p>	朝日大学医科歯科医療センター